

令和7年度 くずし字講座のお知らせ 全10回

ちょっとした手習い感覚で、江戸時代などに使われていた「くずし字」を読んでみませんか？

江戸時代の古文書は、実は地域にたくさん残っています。

民家や蔵、物置などに眠っていることが多いですが、読んでみるとご先祖様や地域の人びとの暮らしぶりが見えてきたりします。

本年度は「忠臣蔵」「赤穂浪士」で知られる「元禄赤穂事件」の関連史料を読みます。

初心者でも読みやすく、慣れてきた人には内容を追うのが面白いテキストを選びました。

全10回（開講日はいずれも予定）ですが、全てに出席できなくても構いません。

また、途中からの参加も大歓迎です。

オーソドックスで易しい文書から読んでみましょう。

〈開講日＝いずれも日曜日、14時～16時〉

令和7年 5/25、6/22、7/27、8/17、9/28、10/26、11/23、12/14

令和8年 1/25、2/15

〈募集人数〉10名程度

〈参加料〉無料

〈会 場〉富岡町文化交流センター「学びの森」第一研修室

〈講 師〉東京大学大学院 情報学環 特任研究員 門馬 健

〈テキスト〉「赤穂集成義士録」

〈準備物①＝全員〉筆記用具、ノートなど

〈準備物②＝持っている人のみ〉くずし字事典

※持っていない方のくずし字事典は主催者が準備します。



【申し込み】

とみおかアーカイブ・ミュージアム

〈電 話〉0240-25-8644(火曜～日曜・9:00～17:00)

〈メール〉tom7100-0@tomioka-town.jp